



大塚だより

大塚ろう学校のX
@otsuka_sd学校生活の様子を発信しています！
フォローをお願いします！

元気ですか！！「ことば」が育てる 子どもの未来

校長 木村 利男

夏季休業が終わり、学校に子供たちの元気な笑顔が戻ってきました。

皆さん、「元気ですか！！」「元気でーす！！」前期後半の始まりです。夏休みは、どのように過ごしましたか。普段できないことにチャレンジしたり、家族や友人と過ごしたり、様々な経験をしたことと思います。ぜひ、先生や友達に「ことば」で伝えてください。その経験が皆さんの成長につながります。

さて、本校では、夏季休業中、4キャンパスの先生方が集まり、外部講師をお招きして校内研修等を行いました。私も先生方にお話をする機会を得ましたので、その内容を少し紹介します。

最初に、「あなたはどの先生ですか？」と問いかけ、そして、「使えば使うほど増えるものな一んだ？」とぞなぞをしました。それは『ことば』ですね。

「ことば」は、自分の気持ちを伝えるためだけでなく、分からないことを質問したり、友達と考えを伝え合ったり、相手の気持ちを理解したりするなど、人と人をつなぐ大切な力です。そして、生涯にわたって自分を支えてくれる「生きる相棒」でもあります。研修では、俵万智さんの短歌「傘だった 言葉を閉じて 歩くとき 杖ともなりて ゆく空の下」を紹介しました。雨の日には傘となり、歩みに迷ったときには杖となるように、「ことば」は人生の様々な場面で私たちを支えてくれるものだと思います。

幼児期には、「伝わった」「分かってもらえた」という喜びが、「もっと伝えたい」という意欲につながります。小学部では、経験したことや自分の思いをことばにすることで、考える力や学ぶ力、そして人と関わる力が育っていきます。私たちが目指しているのは、「ことばをたくさん知っている子供」だけではありません。「ことばを使って考え、自分の思いを伝えられる子供」を育てることです。

例えば、先生が「これは何ですか」と尋ね、子供が「りんごです」と答えて終わる授業だけではなく、「どんな色かな」「どうして赤いかな」「どんな味がするかな」「誰と食べたいかな」と問いを広げていく。そうすることで、子供たちは「ことば」を使いながら考え、自分の考えをさらに深めていきます。

「ことば」は、知識を伝えるためだけのものではなく、考えるための道具でもあります。

日頃から、「ことばを使って考える力を育てる」ことが、何より大切だと考えています。先生方には、「子供が『わかった！』『できた！』『もっと伝えたい！』と感じる授業になっているだろうか」「子供の考えを引き出す問いかけができていないだろうか」と、自分自身の授業を振り返りながら、日々の授業づくりに取り組んでほしいと伝えました。先生方は、これまでも、そしてこれからも、目の前の子供たちのことを思いながら、専門性を高めるための研究と修養に努めています。

最後は、「先生方、研究と修養も大切ですが、健康と休養も大切ですよ」とお伝えしました。先生方自身が心身ともに元気であることは、子供たちの学びを支える大切な力です。これからも、家庭と学校が力を合わせ、子供たちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。

さて、過日7月28日には熊本県を震源とする大きな地震が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧・復興を願っています。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。本校では9月に防災訓練を実施します。防災訓練は避難の練習だけではなく、自分の命を守る力を身に付ける学習でもあります。ご家庭でも、避難場所や連絡方法などについて話し合う機会をぜひ設定していただければ幸いです。

さあ、本校は、今年創立100周年を迎えます。12月11日（金）実施予定の記念式典に向けた準備も順調に進んでいます。式典後の祝う会では、子供たちからの発表も準備してまいります。先日ホームページに掲載した100周年記念歌について、手話動画も掲載できるように準備しています。引き続き、100年にわたり受け継がれてきた「ことばを育てる教育」。そのバトンは、今、子供たちへ、そして未来へとつながっています。

「ことばは、未来を生きる力」です。子供たち一人一人が、自分の「ことば」で考え、自分の「ことば」で夢を語り、自分らしく未来を歩んでいけるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

大塚ろう学校の100年【増えていくろう学校】

戦後、在籍する幼児・児童・生徒数の増加や職業教育の充実等に対応するため大塚ろう学校からいくつかのろう学校が分離、独立していきました。昭和25年花畑合宿教育所が都立足立聾学校に、昭和32年江東分校が都立江東聾学校に、昭和37年高等部が都立石神井聾学校になりました。

この分離・独立は大塚ろう学校だけでなく、城南分教室のもととなる都立品川聾学校でも行われ、昭和33年新宿分校が永福分教室のもととなる新宿聾学校（のちの杉並ろう学校）になりました。都内では、立川聾学校（昭和26年）、大田聾学校（昭和37年）、綾瀬聾学校（昭和40年）が開校し、都立ろう学校は9校になりました。

9月の行事予定



日	曜日	本校	城東分教室	城南分教室	永福分教室
1	火	安全指導日・安全点検日 学部集会(幼・小) 11:30(幼)13:40(小) 下校 教育実習開始(～18日)	安全指導日・安全点検日 学部集会(幼・小) 11:30(幼)13:40(小) 下校	安全指導日・安全点検日 学部集会10:00～10:20 11:30 下校	安全指導日・安全点検日 学部集会11:30(幼)A短縮(小) 下校指導(小) 教育実習開始(～18日)
2	水	身体測定(小高)委員会(小高) 14:00 下校始(幼1)	児童朝会(小) 14:00 下校始(幼1)	14:00 下校開始(幼1)	児童朝会 SC 14:00 下校開始(幼1)
3	木	保育園交流(幼3) 身体測定(小低)	誕生会(幼)		オーディオ・ノバ(一斉点検)
4	金	避難訓練(地震) SC 来校日 引き渡し訓練(幼・小高:13:30) (小低・4組:14:00) スクールバス下校なし	引き渡し訓練(幼:13:30) (小:14:00)	引き渡し訓練(幼:13:30)	ひよこ手話講座④ 高井戸図書館読み聞かせ(小低)
5	土	中央ろう・オープンキャンパス サンサンカーニバル	中央ろう・オープンキャンパス		中央ろう学校オープンキャンパス
6	日				
7	月	SSW来校日		図書館お話し会9:45～11:20	
8	火	身体測定(幼) 子供政策連携 出前授業 (小5、6年 5校時)	10:00 医ケア指導医検診②		リオン(一斉点検) 子供政策連携 出前授業 (小56、5時間目)
9	水	社会科見学(小4)	委員会(小3～6)	聴力測定	身体測定 委員会(小高)
10	木		リオン	身体測定	保護者講座「絵本の読み聞かせ」 ブルーム(一斉点検)
11	金	SC 来校日		避難訓練(地震→津波)	9:30 避難訓練(水害)
12	土				
13	日				
14	月	面談期間(～30日) B短縮(1～4年)	面談期間(～30日) B短縮(1～4年)	誕生会10:30～ ※年間計画から変更しています。	面談週間(～30日) B短縮(小1～4)
15	火	ブルーム・リオン(一斉点検) 健康相談 B短縮(1～4年)	身体測定 B短縮(1～4年)		藤原先生と遊ぼう(幼) B短縮(小1～4)
16	水	B短縮(1～4年)	B短縮(1～4年)	手話学習会	B短縮(小1～4)
17	木	B短縮(1～2年) 合同社会科見学(小5)	B短縮(1、2年) 合同社会科見学(小5)	運動会予行練習	B短縮(小1,2) 合同社会科見学(小5)
18	金	運動会予行(幼)	重複社会見学	保護者学習会(板倉T)	保護者手話講座⑤
19	土	大塚土曜クラブ			
20	日				
21	月	【敬老の日】	【敬老の日】	【敬老の日】	【敬老の日】
22	火	【国民の休日】	【国民の休日】	【国民の休日】	【国民の休日】
23	水	【秋分の日】	【秋分の日】	【秋分の日】	【秋分の日】
24	木		オーディオ・ノバ(一斉点検)	健康相談12:00～13:00	
25	金	13:30 下校(幼) SC 来校日	お月見会(幼)13:30 下校(幼) 避難訓練(火災)		社会科見学(小4) 13:30(幼)
26	土	幼稚部運動会12:00 下校 小学部授業参観日 11:40 下校	幼稚部運動会11:30 下校 小学部授業参観日 11:40 下校	幼稚部運動会11:30 下校	幼稚部運動会11:30 下校 小学部授業参観日 11:40 下校
27	日				
28	月			聴力測定	
29	火	幼稚部見学説明会 オーディオ・ノバ一斉点検(小) 13:30 下校(幼) 13:40 下校(小)	13:30 下校(幼)13:40 下校(小)	13:30 下校	13:30(幼) A短縮(小)
30	水	前期終業式 11:30 下校(幼) 11:40 下校(小)	前期終業式 11:30(幼)11:40(小) 下校	前期終業式 11:30 下校	前期終業式 11:30(幼)11:40(小)

*SSW:スクールソーシャルワーカー(東京都聴覚障害者自立支援センター) SC:スクールカウンセラー